

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：みどり乳児園	種別：認可保育所
代表者氏名：田中 恵子	定員（利用人数）： 50名（52名）
所在地：〒227-0062 横浜市青葉区青葉台1-29-15	
TEL：045-981-6644	
ホームページ： https://midori-nyujien.yokohama/about	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	1981年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）	特定非営利活動法人 みどり乳児園			
職員数	常勤職員：	9名	非常勤職員：	27名
専門職員	保育士	26名	管理栄養士	1名
	栄養士	1名	調理師	4名
施設・設備 の概要	(居室数)		(設備等)	
	保育室5室、事務室1室、医務室1室、厨房1室、職員休憩室		耐震診断を2回受けています。その後必要なメンテナンスを毎年実施しています。建物2階部分に園庭がありますが、屋上も園庭として認可されています。ゴムチップを敷き詰め、壁面はコーティングを施し安全に使用できるようにしています。乳児室脇の通路、階段も同様に安全対策をしています。	

みどり乳児園は、東急田園都市線「青葉台」駅から、商店街を歩いて10分ほどの所にあります。商店や病院が並ぶ大通りに面していますが、一歩中に入ると緑豊かな住宅街となっています。園は、1978年（昭和53年）に託児所として開設され、1997年（平成9年）に横浜市認定横浜保育園、2004年（平成16年）4月に認可保育園となりました。運営法人は、特定非営利活動法人みどり乳児園です。園舎は、鉄筋コンクリート造2階建てで、1階に4・5歳児保育室、2階に0歳児から3歳児保育室、給食室、事務室などがあります。2階保育室に面して遊具が設置された園庭があるほか、屋上園庭もあります。定員は50名（産休明け～就学前）です。開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時30分～18時30分です。

③理念・基本方針

保育理念

子どもの個性、特性を尊重し、健全な保育環境のもとのびやかに育つ

保育方針

一人ひとりの心に寄り添った保育の実践

保育目標

1. 丈夫な身体（心身ともに健康に育てほしい）
2. 優しい心（友達、家族、先生他、様々な人たちへの思いやりを育ててほしい）
3. チャレンジする力（子どもの発達、成長に合わせ、あれもこれもやってみたいと思う心を育てる）

④施設・事業所の特徴的な取組

一人ひとりの個性、特性を大事に、伸び伸びと毎日を楽しめるように全職員が取り組んでいます。子どもの気持ちを受け止め、丁寧にコミュニケーションを取っています。保護者会の協力も大きなプラスになっています。既定の数字ではなく現状に合わせて職員配置をし、個別対応に細やかに取り組むよう努めています。3歳児からは専門の講師の指導で、安全に運動に取り組めるように体操教室を、4・5歳児にはさらに英語教室に参加できるようにしています。また、畑で苗を植えたり、収穫の経験を出来るようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月5日（契約日）～ 2023年9月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

1. 子どもたちは様々な経験を通し自分らしさを発揮しています

園は、保育理念に基づき、子どもがそれぞれの良さを発揮しながら、友だちと一緒に園生活を楽しみ、様々な経験を積めるように支援しています。自由遊びの時間には、保育士は、子どものやりたいという気持ちを大切に環境構成を工夫し、それぞれの子どもが落ち着いて遊べるようにしています。行事は、子どもと相談しながら内容を決めています。保育士は、プログラムや役割を工夫し、一人ひとりの子どもができることを頑張り、自信が持てるようにしています。3歳児以上の体操教室、4・5歳児の英語教室を行っています。5歳児が乳児に読み聞かせをするなどの異年齢の活動の機会も多く設け、お互いに思いやる気持ちが育っています。夏休みには、卒園生がボランティアとして訪れ、子どもたちと交流しています。このような様々な経験を重ねることで、子どもたちは自分らしさを発揮し、友だちと一緒にのびのびと園生活を楽しんでいます。

2. 職員間で連携し、子どもの心に寄り添った保育の実践に努めています

職員会議や日々の話し合いで、「一人ひとりの心に寄り添う」という園の基本方針を職員間で共有しています。保育士は、子ども一人ひとりの様子を見守り、言葉やつぶやきなど小さな発信も見逃さないように努め、寄り添っています。子どもができたときには、すぐに声をかけてほめ、子どもが小さな成功体験を重ねられるようにしています。子どもを注意する時にも、否定するのではなく前向きな言葉掛けをするように心がけ、子どもが納得して次の活動に移れるように働きかけています。集団の中で遊びを見つけられない子どもには、個別に寄り添い、それぞれの子どもが興味や関心に合わせた活動ができるように支援しています。職員会議やクラスでの話し合いを始めとして、保育の中でも日々声を掛け合ってお互いの気づきを共有し、職員皆が同じ対応ができるようにしています。保育士は連携して、子どもの心に寄り添った保育実践に努めていて、保育観察時にも、子どもが落ち着かない時に、他の保育士がさりげなく変わったり、お手伝いを頼みに来たりする姿を見ることができました。

3. 保護者が安心して子育てができるよう支援しています

全園児、毎日連絡ノート（育児日誌）を用いて情報交換するとともに、朝夕の送迎時には、コミュニケーションを取って子どもの様子を伝え、保護者の声を引き出しています。子どもの小さな変化も細やかに伝えることで、保護者と信頼関係を築き、保護者が安心し、子どもの成長を感じられるようにしています。年3回クラス懇談会、必要に応じた個人面談で保育の意図や子どもの姿を伝えるとともに、保護者参加行事や保育参観を行い、保護者が子どもの園での姿を見る機会を作っています。保護者と密にコミュニケーションを取って保護者の相談にのることで、保護者との信頼関係が築かれていることが、保護者アンケートの高い満足度でも見る事ができます。

【今後に期待される点】

1. 人材育成計画を整備し、計画的に人材育成に取り組まれることが期待されます

園では、理念に沿った保育の実践に向けて、職員会議等話し合いの機会を多く持ち、保育士がそれぞれのライフスタイルに合わせて働けるような環境を整えています。人材育成としては、年度末にテーマに沿ったレポートを職員に提出してもらい、個人面談で園長が評価をしていますが、人事基準や業務・能力等の評価に基づく人事評価の仕組みや職員が将来の姿を思い描くことができるような系統だったキャリアパスの仕組みを作るまでには至っていません。また、個人別研修計画を策定して、計画的に研修を実施することもしていません。今後の職員交替などに備え、人材育成の仕組みを整備し、計画的に取り組まれることが期待されます。

2. 個人情報保護や子どものプライバシー保護への取り組みを整えていくことが期待されます

園では、個人情報に関するマニュアルを整え、職員に伝えていますが、個人情報保護についての研修を毎年実施したり、誓約書を取るなどの取り組みはしていません。保護者に対しても、入園時に説明しているものの、同意書を取得するまでには至っていません。子どものプライバシー保護についても、子どもの気持ちに配慮しているものの、マニュアルを整備し、着替えなど場面ごとに職員間で確認することはしていません。

個人情報やプライバシーなどに関しては、時代の求めに合わせて毎年研修を実施して、自分たちの取り組みを確認していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保護者の皆さん、この度の第三者評価アンケートへのご協力をいただき感謝申し上げます。アンケートから保護者皆さんの率直な思いを知ることが出来ました。そして、職員一同、多くの気付きをいただきました。有難うございました。

●4月から自己評価に全員で取り組んできました。初めて経験する職員も、何度か経験した職員もそれぞれが日々を振り返り意見を出し合い今回の結果となりました。

まず、保護者アンケートで多くの保護者の方々からの深い理解と温かい言葉をいただき嬉しさと感謝の思いを強くしました。励みにもなりました。また、受審することでいつも以上に保護者の側に立った見方が出来た（どうしたら相手にわかりやすいかを考えるようになった）と思うと同時に、思いが伝わらないこともあるとわかり残念な気持ちにもなり、伝え方の難しさも感じました。今まで以上に相互理解を深める必要性を感じました。これからは更にコミュニケーションの向上に取り組んでいく努力をしたいと思います。

●評価委員の方々から日常的に取り組んでいる場面を高く評価され嬉しく感じました。

自分たちの良いところ、改善すべき点を確認することができました。自己評価に向けグループでの話し合いを進める中、他園での勤務経験がある職員からその当時の体験を聞く機会もありました。それぞれの職員の考えや意見を聞くことが出来たり、また自分の考えや疑問を伝えたりと話し合いを深める機会を持つことができました。

●限られた空間と資源で職員の工夫により保育環境が整えられていることも改めて感じました。また、日頃の保育を振り返り気づかされることがたくさんありました。今の時代に沿ったやり方についても今後話し合い改善へとつなげることの大切さを感じました。個別配慮や職員同士の協力など良い点も評価され自分たちの努力が認められ改めて自信にもなりました。地域交流については実践力の足りなさを感じていましたが、コロナ禍から落ち着きを取り戻しつつある中で少しずつ地域に目を向け新たな企画も実践へ繋げています。しかし、近年求められることが多すぎて日々の仕事量を考えると難しいと思うこともあります。保育に求められることが増える一方で、人員確保は逆に難しくなり、分かっているでも限られた職員数の中で努力と協力だけでは進めて行けないものかしさも感じています。

大切な子どもたちの命と健康を守っていくために、出来る限りの努力を日々重ねています。どんなに大変でも子どもたちの笑顔に癒されながら保育の現場で働けることを誇りに思っています。良いところも改善すべきところも含めて、3回目の受審をして得ることがたくさんありました。今後は新たな目標に向かって地道な努力を続けていきたいと思えます。

みどり乳児園 園長 職員一同

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり